

FUKUI DAIZU 情報

福大豆 No.7

9月も半ばとなりますが依然として気温は高く、今後も高い日が続くことが予想されます。カメムシ類やハスモンヨトウ等の害虫による被害が無い大豆圃場を観察しましょう。また、今後は台風が発生しやすい時期です。排水溝の再確認をしましょう。日中の農作業は、水分と塩分の補給や休憩をとるなどの熱中症対策を行ってください。

1. 害虫仕上げ防除について



- 高温の日が続いており、害虫による被害が予想されます。仕上げ防除の実施をお願いします。
- 農薬は、葉の表裏や莢などに十分かかるよう丁寧な散布をお願いします。
- 農薬使用の際は、安全使用基準に留意しましょう。

防除時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法
子実肥大後期 (9月上旬)	カメムシ類 フタスジメハムシ ハスモンヨトウ 他	ダントツH粉剤DL	3～4kg/10a 収穫7日前まで 使用回数3回まで
		カスケード乳剤	4000倍 32倍(無人ヘリ対応) 収穫7日前まで 使用回数2回まで

★防除についてのお問い合わせは、各営農指導員まで。

2. 排水溝の再確認について

- 秋雨前線や台風が発生しやすくなる時期です。排水溝の再確認をしましょう。
- 溝が崩れていたら手直しをしましょう。



3. 収穫前の雑草について

- 汚損粒の原因となる大きな雑草は、刈り取り前に抜き取りましょう。
- 帰化アサガオ類は、地際から抜き取り、圃場外に持ち出して処分しましょう。
- 畦畔等の帰化アサガオ類は、種を付ける前に除草剤で枯らして翌年の発生量を抑えましょう。

【培土期以降の除草剤】

使用時期	除草剤名	10a当りの使用量
雑草生育期・は種後出芽前・畦間処理 (収穫28日前まで)	バスタ液剤	300～500ml/100～150ℓ 雑草茎葉処理 畝間散布
雑草生育期 畦間処理 (雑草の草丈30cm以下) (収穫3日前まで)	プリグロックスL	600～1000ml/100～150ℓ 雑草茎葉処理 畝間散布

マルバルコウ



マメアサガオ



ホシアサガオ



マルバアメリカアサガオ
アメリカアサガオ

